

被ばく線量の分布等について

1. 被ばく線量

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の過去3ヶ月の外部被ばく線量分布（各月別の全入域者数）を表1に示す。

表1

区分(mSv)	H24.3月			H24.4月			H24.5月		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200超え～250以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150超え～200以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100超え～150以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	0	0	0	0	1	1	0	0	0
10超え～20以下	2	38	40	3	47	50	1	37	38
10以下	1,112	4,496	5,608	1,059	4,192	5,251	881	4,432	5,313
計	1,114	4,534	5,648	1,062	4,240	5,302	882	4,469	5,351
最大(mSv)	11.40	19.06	19.06	13.00	23.53	23.53	10.15	16.85	16.85
平均(mSv)	0.82	1.24	1.16	0.76	1.14	1.06	0.59	1.29	1.18

これらの数値は入域毎のAPD値の積算値を用いているが、積算型線量計による月間線量値へ置き換えること等により変動することがある。

2. 外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

福島第一原子力発電所にて放射線業務に従事した作業者の4月末（H23.3.11～H24.4.30）と5月末（H23.3.11～H24.5.31）までの累積線量分布の比較を表2に、4月と5月の線量分布を表3に示す。

表2

区分(mSv)	H23.3～H24.4月			H23.3～H24.5月			増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	6	0	6	6	0	6	0	0	0
200超え～250以下	1	2	3	1	2	3	0	0	0
150超え～200以下	22	2	24	22	2	24	0	0	0
100超え～150以下	117	17	134	117	17	134	0	0	0
50超え～100以下	452	326	778	460	348	808	8	22	30
20超え～50以下	612	2,473	3,085	613	2,583	3,196	1	110	111
10超え～20以下	494	2,900	3,394	490	2,925	3,415	-4	25	21
10以下	1,715	12,483	14,198	1,737	12,901	14,638	22	418	440
計	3,419	18,203	21,622	3,446	18,778	22,224	27	575	602
最大(mSv)	678.80	238.42	678.80	678.80	238.42	678.80	-	-	-
平均(mSv)	24.83	9.45	11.88	24.79	9.46	11.84	-	-	-

外部線量の数値は入域毎のAPD値の積算値を用いているが、積算型線量計による月間線量値へ置き換えること等により変動することがある

表 3

区分 (mSv)	H24.4月			H24.4～5月			H24年度増減		
	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計	東電社員	協力企業	計
250超え	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200超え～250以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
150超え～200以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100超え～150以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50超え～100以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20超え～50以下	0	1	1	0	34	34	0	33	33
10超え～20以下	3	47	50	14	140	154	11	93	104
10以下	1,059	4,192	5,251	1,148	5,192	6,340	89	1,000	1,089
計	1,062	4,240	5,302	1,162	5,366	6,528	100	1,126	1,226
最大 (mSv)	13.00	23.53	23.53	15.74	30.12	30.12	-	-	-
平均 (mSv)	0.76	1.14	1.06	1.14	1.97	1.82	-	-	-

外部線量の数値は入域毎のAPD値の積算値を用いているが、積算型線量計による月間線量値へ置き換えること等により変動することがある。

3. 特定高線量作業従事者の外部被ばく線量と内部被ばく線量の合算値

特定高線量作業従事者¹の累積線量分布を表4に示す。

表 4

区分 (mSv)	H24.3月	H24.4月	H24.5月	H23.3月～H24.5月
250超え	0	0	0	0
200超え～250以下	0	0	0	0
150超え～200以下	0	0	0	0
100超え～150以下	0	0	0	0
50超え～100以下	0	0	0	246
20超え～50以下	0	0	0	174
10超え～20以下	2	3	1	43
10以下	503	511	526	64
計	505	514	527	527
最大 (mSv)	11.58	16.38	10.15	93.65
平均 (mSv)	1.33	1.07	0.88	45.99

(5月は特定高線量作業従事者の内、107名については入域実績なし)

1 特定高線量作業従事者

電離放射線障害防止規則第7条の緊急被ばく限度(100mSv)が適用されるとされている作業に従事する者。具体的には、発電所に属する原子炉施設並びに蒸気タービン及びその付属設備又はその周辺の区域であって、その線量が1時間につき0.1mSvを超えるおそれのある場所において、原子炉施設若しくは使用済燃料貯蔵槽を冷却する設備の機能を維持するための作業を行うとき又は原子炉施設の故障、破損等により多量の放射性物質の放出のおそれのある場合に、これを抑制若しくは防止するための機能を維持するための作業に従事する者を指す。

なお、これまでの特定高線量作業従事者については東電社員のみが対象者である。

以上